

令和7年度 自己評価シート【碑住区センター児童館】

1、福祉サービスの基本方針と組織

1-1 理念・基本方針

<p>1-1-1</p> <p>理念、基本方針が明文化（児童館内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等））され周知が図られている。</p>	
<p>【判断基準】</p> <p>(a) 児童館の理念、基本方針が適切に明文化されており、職員、利用者等への周知が図られている。</p> <p>(b) 児童館の理念、基本方針が明文化されているが、内容や周知が十分ではない。</p> <p>(c) 児童館の理念、基本方針の明文化や職員、利用者等への周知がされていない。</p>	
<p>【自己評価】</p>	<p>実践例（取組や記録等）</p>
<p><input checked="" type="checkbox"/> a)、<input type="checkbox"/> b)、<input type="checkbox"/> c)</p>	<p>児童館のパンフレットに施設の基本理念を提示している。</p> <p>初めて来館をする利用者には施設の使い方や事業紹介を丁寧に行っている。</p> <p>「こどもかいぎ」での声や意見をできる限り館運営に反映させ、またその内容を掲示してすべての利用者が見られるようにしている。</p>
<p>1-1-2</p> <p>理念、基本方針の確立・周知について</p>	
<p>良いと思う点</p>	<p>改善が必要だと思う点</p>
<p>子どもからの意見を積極的に聞き、館運営やプログラムの実施に反映するよう努めている。</p> <p>特に初めて利用をする幼児の保護者には施設の案内を丁寧に行い、ルールについてご理解をいただくように努めている。</p>	<p>運営に携わる全職員が理念や基本方針をより深く理解できるように努める。</p>

2、児童館の活動に関する事項

2-1 児童館の理念・目的及び施設特性

<p>2-1-1</p> <p>児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。</p>
<p>【判断基準】</p> <p>(a) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。</p> <p>(b) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいるが、十分ではない。</p> <p>(c) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいない。</p>

【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針を基に、法人の理念と合わせて年間計画を立てている。
2－1－（2） 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の施設特性を発揮している。	
【判断基準】 (a) 児童館の施設特性を発揮している。 (b) 児童館の施設特性を発揮しているが、十分ではない。 (c) 児童館の施設特性を発揮していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	利用者が一人でも来館しやすい環境作りに努め、状況に応じて他の児童や保護者とながれるように働きかけている。職員は日常的な会話や一緒に遊ぶことを通して利用者と積極的に関わり、信頼関係の構築に努めている。 すべての子どもたちが児童館で安心して過ごせるよう、環境整備、子どもたち同士の関係性にも留意して見守っている。 クラフトルームを毎日開室し、子どもの活動の機会の幅を広げている。
2－1－（3） 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	
【判断基準】 (a) 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。 (b) － (c) 子どもの権利擁護に関する取組が十分ではない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	子どもに寄り添い、話を聴くことを意識し、一人ひとりに合った対応を心がけている。 半年に1回、子どもの人権チェックシートを使って意識のセルフチェックを行っている。
2－1－（4） 児童館の理念・目的及び施設特性について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
すべての事業において、児童館の理念、目的に照らし合わせ事業の目的を確認している。 幼児と小学生、小学生と中高生など異年齢の子どもたちが交流できる場になっている。 児童館がフラッと立ち寄れる居場所として認識されている。	利用対象者である中高生の利用が少ないため、中高生のニーズ調査や、やりたいことができる場として活用してもらえるよう働きかけはもちろん、小学校高学年世代への周知や職員との関係づくりにも力を入れる必要がある。 地域、近隣学校との連携について、さらなる努力が必要である。

2-2 遊びによる子どもの育成

2-2-（1） 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。	
【判断基準】 (a) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。 (b) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っているが、十分ではない。 (c) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	日常的な会話やいっしょに遊ぶことを通して利用者と関わりをもち、一人ひとりの特性や性格を理解するよう努め、子どもに寄り添った関わりをしている。 子どもの様子やトラブルなどは日報に残し、職員間で毎日共有することで、共通認識を持って対応するようにしている。
2-2-（2） 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。	
【判断基準】 (a) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。 (b) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしているが、十分ではない。 (c) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしていない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input type="checkbox"/> a)、 <input checked="" type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	「こどもかいぎ」や「プレイルームでの遊び決めの話し合い」などを通して、子どもの主体性を大切にし、やりたいことを実現できるように心がけている。 環境的な面でできることが限られているため、子どもの意見もマンネリ化してきている。職員がどのように幅を広げていくかが今後の課題である。
2-2-（3） 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。	
【判断基準】 (a) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。 (b) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助しているが、十分ではない。 (c) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるような援助を行っていない。	

【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
□a)、 <input checked="" type="checkbox"/> b)、□c)	<p>プレイルームでは、色々な学年の子たちで集まり、みんなで遊びを決めている。子ども同士で上手く遊びが決められない時やトラブルの際は、職員が入ってサポートしている。</p> <p>「ちいボラ」という小学生ボランティアの活動を始め、小学生が自主的に幼児と関わって遊ぶ姿が見られる。</p> <p>クラフトルームでの造形活動では、作品を展示する機会を設けることで、子ども同士がお互いの作品に影響を受けている様子が見られる。</p> <p>2人以上で行うボードゲームを増やすことで、一人で遊びに来た子や知らない子同士でも一緒に遊びやすい環境作りに努めている。</p> <p>中高生と小学生の関わりも増えてきたが、お互いに遠慮や気遣いが無いことによるトラブルも見られるため、職員が間に入って見守るようにしている。</p>
2-2-(4)	
遊びによる子どもの育成について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
<p>子どもの造形活動の幅を広げるため、工作プログラムを定期的に変えている。</p> <p>一人で遊びに来ても、職員の声かけによって他児との遊びにつなげることができている。</p> <p>職員は積極的に子どもたちと関わり、遊びを通して関係性を築いている。</p>	<p>子どもの「やりたい」を引き出し、またそれを実現させるため、一人ひとりの職員がコミュニケーションスキルをあげ、また利用者に寄り添った支援ができるような技術を向上させていく。</p> <p>子どもたちから「〇〇がしたい」という意見が出るが、本人たちは意見を出したことで満足してしまい、その後実現に向けた取り組みまで意欲が持続しないことが多い。計画、実行までのプロセスも経験できるよう職員のサポートが必要である。</p>

2-3 児童館の安全管理

2-3-(1)	
緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	
【判断基準】	
<p>(a) 利用者の安全確保のために、体制が整備され機能している。</p> <p>(b) 利用者の安全確保のために、体制が整備されているが、十分に機能していない。</p> <p>(c) 利用者の安全確保のために、体制が整備されていない。</p>	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、□b)、□c)	<p>「安全管理・危機管理マニュアル」を作成し、火災発生時、地震等災害発生時、不審者対応、食物アレルギー対応などについての対応策を整備している。</p> <p>火災・災害・地震・訓練の実施している。</p> <p>定期的に嘔吐物処理セット、救急箱の中身の点検をおこなっている。</p>
2-3-(2)	

利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	
【判断基準】 (a) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集し、要員分析と対応策の検討を行い実行している。 (b) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集しているが、要員分析と対応策の検討が十分でない。 (c) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<p>開館時の準備として館内の清掃、環境整備、施設点検を行い、閉館時は各部屋の環境整備と乳幼児ルームの玩具の消毒・点検を毎日行っている。</p> <p>ヒヤリハット事例があった場合は日々の業務日誌に残し、職員全体で危険個所や改善策の共有を図っている。</p> <p>施設面で気がついたことがあった場合は、早急に放課後子ども対策課、南部地区サービス事務所と連絡を取り対応している。</p>